



3月の園だより

令和5年3月1日

目黒区立不動保育園

先日、5歳児クラスが林試の森公園で私立保育園も含めて6園の保育園児合計97名と交流を行いました。ジャンケン列車でグループを決め、ボール運び等のゲームをして遊びました。グループごとに「自分たちのチームが勝つためには」と作戦会議を開き再度ゲームをして実践につなげました。小学校へ向けて新しい友達と協力する方法を学びながら交流してきました。今月には地域の6園の保育園児と不動小学校1年生との交流も計画されています。もっともっと子どもたちの人数が多くなり小学校の広さなどからより入学への実感もわいてくることと思います。

2月の末に林試の森公園にて防災地震車体験会に参加してきました。地震体験車に3～5歳児は乗せてもらい、震度6強を体験しました。体験した後は「ちょっと怖かった」「本当に地震来るの」と心配になる子などいましたが貴重な体験をしてきました。1歳児もお兄さんお姉さんたちが乗る地震体験車を見て「グラグラ」と体を一緒に揺らしている子もいました。2～5歳児の子どもたちは初めて消火器訓練に参加し、消火器のピンを抜いてフォースを持って水を出し消火の練習をしてきました。噴射の勢いに子どもたちは驚いていました。地震が来ない事が望ましい事ですが『備えあれば患いなし』という言葉があるように備えておくことは忘れてはいけないと感じました。

もうすぐ卒園お祝い会があり就学を迎える5歳児や、部屋を移動し進級の準備が始まる1歳児～4歳児の子どもたちが安心して生活が出来、新年度への期待が持てるように職員一同保育を進めてまいります。



3月の予定



不動小学校1年生と交流

卒園お祝い会

幼児お別れ散歩

お別れ会

5歳児

5歳児

3～5歳児

中旬

身体測定・避難訓練 全園児

～クラス移動日について～

- ・28日(火)
荷物の入れ替えなど、新クラスの準備をします。
- ・29日(水)～31日(金)
進級した保育室で現担任が保育します。

※詳細は各クラスに掲示します。
ご理解、ご協力をお願いします。

一年間の成長した姿



◀ スズラン組(0歳児クラス) ▶

入園して1年間が経ちました。始めのうちは保護者の方と離れて不安そうな子もいました。今ではお気に入りの木の車のおもちゃを走らせたり、戸外遊びに誘うと「ぼうし」と指を差したりしています。友達との関わりも多くなり、保育士に見守られながらミニハウスの中と外で「いないいないばあ」をしたり、横に並んで洗面器に人形を入れて布で拭いたりして遊ぶ様子があります。1年間で心も身体も成長した子どもたちです。

《 チューリップ組（1歳児クラス） 》

歩き方が不安定だった姿から今は「まてまて」「逃げる」と走って遊ぶ姿に変わり、林試の森公園まで友達や保育士と手をつないで歩けるようになりました。言葉もだんだん増えてきて「やって」など自分の気持ちを伝えるだけでなく、遊びの中で友達や保育士との会話ややり取りを楽しむ姿も増えて遊びのイメージも膨らんでいます。着替えの場面でも「自分で」とやりたい気持ちが高まっています。これからも友達や保育士とのやり取りや一緒に好きな遊びを繰り返すことや、自分で出来ることを増やしていけるように保育を進めていきます。

《 タンポポ組（2歳児クラス） 》

春は一人ひとりが好きな遊びをしていましたが、今は友達と一緒に遊ぶことが多くなってきました。子どもたち同士でままごとの料理を作ったり、ブロックで乗り物や建物を作って「カレー一緒に食べる」「この車で、どこに行く」などと誘い合いながら同じようなイメージを持って遊ぶことが楽しくなっています。また、神経衰弱やしっぽ取りなど説明されたルールを守り、保育士に見守られながら友達と一緒にゲームをすることも喜び「またやりたい」と子どもたちから声上がるほどです。保育士がやり取りを助けながら一緒に遊び、友達と遊ぶことが楽しいと思える時間をこれからもたくさん作ってきたいと思います。



《 コスモス組（3歳児クラス） 》

色画用紙で作ったマイ財布に紙で作ったお金を入れて買い物ごっこをするのがブームです。一人がお金を作り始めると、隣の子もそのまた隣の子もみんなで作り始めます。「できた」「見せて、わあいっぱい」「バスに乗って行こう」とごっこ遊びが始まります。保育士と数名の子どもがお店を開店すると続々と来店します。「〇〇ありますか」「〇〇ちゃん、〇〇買おうよ」「あ、バスが行っちゃう」と友達とやり取りを楽しみながら遊んでいます。友達と一緒に遊びを展開していく楽しさをたくさん経験して行く中で、友達と一緒にいたい、遊びたいという気持ちを育て、友達関係をもっと深めていけるようにしていきたいと思っています。



《 マーガレット組（4歳児クラス） 》

登園するとすぐに「一緒に遊ぼう」「〇〇しよう」と友達を誘い、遊びが展開していきます。お互いのイメージを出し合いながら積み木で大作を作ったり、すごろくやトランプ等のゲームをして楽しんだり、子ども同士のやり取りが活発になっています。また、折り紙の折り方が分からない時は得意な子に聞いたり、ごっこ遊びでやりたい役が重なってしまった時も、自分たちで相談して決められるようになってきたり、友達の良い所に気が付き友達と一緒に楽しく遊べるようになってきたことで、この一年間で仲間関係が一層深まりました。4月から一番大きいクラスになる事で、子どもたちは当番活動など新しいことに取り組めることを楽しみにしています。



《 ヒマワリ組（5歳児クラス） 》

春、憧れのカプラ積み木を始めました。軽くて薄いため積みやすい反面、高く積み上げると崩れやすいこともあり「あ～また」と崩れるたびに悔しがっていました。繰り返し挑戦することで塔は高く積めるようになり、自分たちの背丈を超える作品が作れるようになりました。友達と一緒に入れる大きさの囲いも作れるようになり嬉しそうに入っています。友達が作る作品と一緒に崩れてしまいけんかになる事もありましたが、作る場所を離す等友達の作品まで壊さないですむ方法を学んでいきました。今では友達と協力をして一緒に大作を作れるようになり汽車や線路、らせん階段、家等を組み合わせつつくりあげる楽しさを学び共有しながら遊んでいます。

今までに培った様々な力を基にして、期待を胸に4月から自信をもって小学校生活を送って欲しいと思います。

